

桜真

NO.43

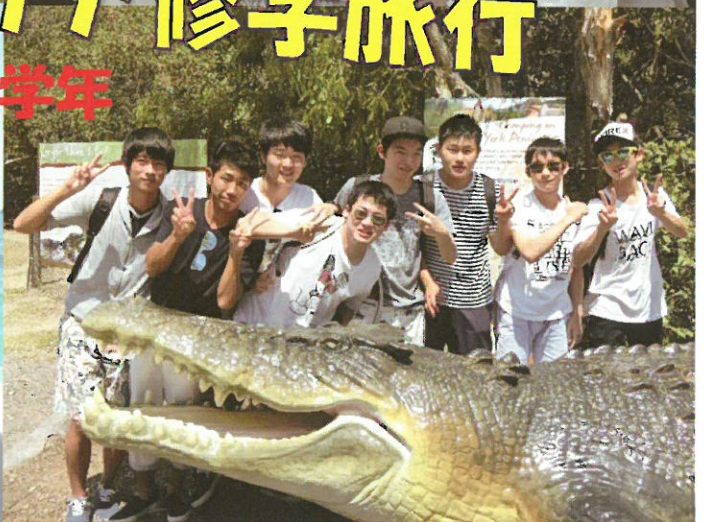
2017(平成29)年2月23日発行
岩瀬日本大学高等学校
<http://www.tng.ac.jp/iwase/>
父母と教師の会
〒309-1453
茨城県桜川市友部 1739
TEL 0296-75-2242
FAX 0296-75-4905



グリーン島・熱帯雨林の世界自然遺産や2泊3日のファームステイ体験

オーストラリア修学旅行

全2学年





全2年オーストラリア修学旅行

平成 28 年 11 月、一人も欠けることなく全 2 年生 190 名がオーストラリア修学旅行に行ってきました。生徒のアンケートでは、サンゴ礁の美しいグリーン島での観光や、ファームステイ先のホストファミリーとの交流が心に残ったようです。

〈見学地よかったランキング〉

★1位 グリーン島

グラスボトムボートのガラスの床から見たサンゴ礁がとてもきれいだった・海がきれい・もったいなかった

★2位 ケアンズ市内

★3位 スカイレール



ファームステイ
の感想



良くなかった 2.1%
・会話ができてきまなかった
・食事が合わなかった他

大変よかった 68.9% よかった 23.7%

普通
5.3%

・オーストラリアの文化に直に触れることができた・ファミリーが実の子供のようにかわいがってくれた・牛や馬を見たり火山や湖の観光地に連れて行ってもらった・英語が通じたときの喜びは大きかった・英語をもっと勉強しようと思った・世界は広いということを実感した他



月日	曜	行 程
11月3日	木	成田国際空港から機中泊
11月4日	金	ケアンズ国際空港着 ジャブカイパークで朝食ブッフェ、アボリジニー文化体験 ハートリース・クロコダイルアドベンチャーズ (動物園、ボートクルーズ) カラボニカ駅からスカイレールで世界自然遺産の熱帯雨林の絶景を堪能 キュランダのビレッジでお土産屋や有名なアイスクリーム屋さんを観光 アサートン高原でホストファミリーと対面
11月5日	土	ファームステイ体験
11月6日	日	ファミリーとお別れしてフェリーでグリーン島へ ケアンズ市内班別自主研修 ヒルトンホテル宿泊
11月7日	月	成田国際空港着



NU 祭 14 年連続 上位入賞

国立・特進1年5組 企画賞(全付属で3位)

担任 長田光司



11月26日(土)、日本大学会館(東京市ヶ谷)でNU祭ビデオ発表会(日本大学全16学部、通信教育部、そして全国に25校ある日本大学付属高校が参加する文化祭の発表会)が行われ、本校の文化祭(桜瑛祭)において展示部門で優勝した国立・特進コース1年5組が代表として参加しました。NU祭ビデオ発表会では、それぞれの学校が文化祭の様子や、その中での企画内容を2分間の映像にまとめて発表します。そして、来場者(日本大学の役員・本部教職員、各学

部の教員・学生、各付属高校の教員・生徒など)による投票で結果が決まります。6月の桜瑛祭終了後、夏から秋にかけて、クラス展示(「笑顔の輪を広げる日本の歌」の内容と桜瑛祭全体の様子)を2分間の映像に編集し、そして11月26日のNU祭当日は委員長の野村翼さんをはじめ、亀田杏純さん、小池菜々子さん、長岡依鈴さんがクラス代表として出席し、小池さん、長岡さんが展示内容の紹介をしてから、映像がスタートしました。他の付属高校の作品も力作揃いで、結果発表

のときは緊張しましたが、本校は3位に相当する「企画賞」をいただくことができました。これで本校はNU祭が始まった2003年以来、14年連続で上位入賞を果たしたことになります。計画を立ててやり抜く力、プレゼンテーション能力、協調性、友情、達成感、感動(文化祭(桜瑛祭)を通して得られることは数多くあります。先輩たちから引き継がれてきた文化祭に全力で取り組むことのできる本校の生徒たちの力と可能性(これが「伝統」「岩瀬日大の強み」となっていくのではないかと実感しました。

桜瑛祭での頑張りをこのような形で改めて評価していただいたことを自信と誇りにして、生徒たちにはますます充実した高校生活を送ってほしいと思います。最後になりましたが、いつも御協力いただき、見守っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございます。



当日は代表生徒のみの参加でしたが、「クラス全員の思いを胸に」桜瑛祭の集合写真を手に記念撮影をしました。



映像で紹介した桜瑛祭での展示の様子です。

戦績

■卓球部

全国高等学校卓球選手権大会

【男子シングルス】2回戦敗退

長山拓巳 (日大3-1-4)

大津龍哉 (日大3-1-2)

高塩晴貴 (日大2-1-3)

【男子ダブルス】3回戦敗退

長山拓巳 高塩晴貴

国民体育大会卓球競技少年の部関東ブロック大会

【少年男子】第7位

長山拓巳 高塩晴貴

日本大学体育大会

高校卓球競技の部

【男子団体】第2位

高塩晴貴 (日大2-1-3)

須田涼太 (日大2-1-3)

斎藤慎平 (日大2-1-1)

尾島英典 (日大2-1-1)

須田陽太 (日総1-1-3)

猪瀬旬啓 (日総1-1-2)

菊地勇伊 (日総1-1-2)

【男子シングルス】第3位

高塩晴貴 (日大2-1-3)

全日本卓球選手権大会

ジュニアの部県予選

【男子シングルス】第2位

高塩晴貴 (日大2-1-3)

【男子ダブルス】優勝

高塩晴貴 須田陽太

茨城県高校卓球新人大会

【男子団体】第2位

高塩晴貴 須田涼太

斎藤慎平 須田陽太

猪瀬旬啓 菊地勇伊

寺門知春 (日総1-1-4)

■ソフトテニス部

茨城県新人大会

【男子団体】ベスト8

青木雅矢 (日大2-1-4)

立原好樹 (総合2-1-5)

野村渉太 (総合2-1-5)

松嶋 樹 (日総1-1-1)

野沢太一 (日大2-1-1)

柳橋李王 (日大2-1-2)

高橋直己 (日大2-1-2)

栗崎留偉 (日大2-1-2)

【男子個人】ベスト8

松嶋 樹 (日総1-1-1)

鈴木晟史 (日総1-1-2)

【男子個人】ベスト16

高橋直己 栗崎留偉

青木雅矢 柳橋李王

【男子個人】ベスト32

野沢太一 野村渉太

久松和真 (日総1-1-4)

小藪井宏季 (日総1-1-3)

【女子個人】ベスト32

稲葉友紀 (総合2-1-5)

比企裕雅 (日総1-1-2)

茨城県高等学校ソフトテニス
インドア大会

【男子団体】3位

高橋直己 栗崎留偉

野沢太一 野村渉太

青木雅矢 柳橋李王

川村勇斗 (日大2-1-3)

立原好樹

■剣道部

県西部地区高等学校秋季剣道大会

【男子個人】準優勝

神郡啓太 (総合2-1-5)

【男子個人】ベスト8

松永藍也 (日大2-1-1)

坂入弘祐 (日大2-1-2)

茨城県高等学校剣道勝ち抜き大会

【男子団体】第5位

神郡啓太 (総合2-1-5)

坂入弘祐 (日大2-1-2)

松永藍也 (日大2-1-1)

山崎海威 (日大2-1-2)

柏木啓汰 (日大2-1-3)

赤城颯汰 (日総1-1-4)

江田展人 (日総1-1-1)

※5人抜き表彰

山崎海威 (日大2-1-2)

【女子団体】第5位

落合ひかり (日大2-1-4)

曾雌 瞳 (日総1-1-2)

小倉未夢 (日総1-1-2)

駒田奈都 (日総1-1-1)

黒澤美奈 (日大2-1-4)

佐藤愛唯 (日総1-1-1)

山口曉穂 (日大2-1-1)

茨城県高等学校剣道新人大会

兼全国選抜大会予選

【男子団体】ベスト8

神郡啓太 坂入弘祐

松永藍也 山崎海威

赤城颯汰 江田展人

佐々木夢翔 (日総1-1-4)

【女子団体】第3位

落合ひかり 山口曉穂

黒澤美奈 駒田奈都

平元美穂 (日大2-1-1)

曾雌 瞳 小倉未夢

■ライフル射撃部

関東高等学校選抜大会

【エアライフル女子個人】

海老澤美沙 (日総1-1-4)

■陸上部

県西部地区高等学校陸上競技新人大会

【女子砲丸投げ】2位

松岡則花 (国立2-1-6)

【男子やり投げ】8位

大矢智生 (日大2-1-3)

※共に県大会出場権獲得

■サッカー部

全国高校サッカー選手権大会

茨城県大会一次予選出場

仁平雄貴 (日大3-1-1)

宇都野貴洋 (日大3-1-2)

福田崇人 (日大3-1-2)

柴 智貴 (日大3-1-3)

清水康平 (日大3-1-3)

宮田雅貴 (日大3-1-3)

河原井飛鳥 (日大3-1-4)

奈良田圭祐 (総合3-1-5)

神白颯一郎 (日大2-1-1)

市塚優真 (日大2-1-2)

海老原昌平 (日大2-1-3)

鏡田直矢 (日大2-1-3)

岸 虎 (総合2-1-5)

鈴木颯太 (日総1-1-2)

川崎元彌 (日総1-1-3)

白田賢史 (日総1-1-3)

久松和生 (日総1-1-3)

矢野泰生 (日総1-1-3)

片野真博 (日総1-1-4)

久保龍也 (日総1-1-4)

飯島陽菜乃 (日総1-1-1)

村上結香 (日総1-1-1)

GAVIC CUP ユースソフトサル

選抜トーナメント2017

茨城県大会出場

鈴木颯太 川崎元彌

白田賢史 久松和生

矢野泰生 久保龍也

村上結香

■バスケットボール部

県西部地区バスケットボール

1・2年生大会

【男子Bトーナメント】

第2位

潮田隆真 (日総1-1-2)

北島一希 (日総1-1-2)

佐伯玲音 (日総1-1-2)

大塚直紀 (日総1-1-4)

松川那央貴 (日総1-1-4)

吉田拓真 (日総1-1-4)

落合太陽 (国特1-1-5)

- 根本浩助 (日大2-1-3)
菊池邦彦 (総合2-1-5)
増田祥太 (国立2-1-6)
- バドミントン部
県西地区新人バドミントン大会
- 【男子団体】出場
山田健悟 (日大2-1-3)
保坂健太郎 (日大2-1-3)
羽野島優太 (総合2-1-5)
鶴見元哉 (日大2-1-2)
川那子真樹 (日大2-1-3)
齋藤和綺 (日総1-1-3)
増山博亮 (日総1-1-4)
渡辺陽希 (日総1-1-4)
- 【女子団体】出場
福留阿久莉 (日大2-1-3)
高嶋春香 (日大2-1-1)
村田 茜 (総合2-1-5)
関 優花 (総合2-1-5)
鮎沢ひかり (日総1-1-1)
- 新聞部
全国高等学校総合文化祭
文化連盟賞
山井彩菜 (日大3-1-2)
後藤多瑛 (日大3-1-1)
高野裕崇 (国立2-1-6)
- 茨城県高等学校新聞コンクール
優秀賞
東京新聞主催新聞切り抜き作品
コンクール
優秀賞
相澤優花 (日総1-1-1)
佐藤真希 (日総1-1-1)
- 吹奏楽部
茨城県吹奏楽コンクール
県西地区大会
優良賞
飯田亜莉紗 (日大3-1-1)
中筋美奈 (日大3-1-2)
小野妃奈乃 (総合3-1-5)
青柳結菜 (日総1-1-2)
嶋崎綾美 (日総1-1-2)
宮永麗奈 (日総1-1-2)
緒方 愛 (日総1-1-4)
- 美術部
県西地区高等学校美術展
入選
内田礼衣 (日大2-1-1)
齊藤なつみ (日大2-1-1)
柳 清夏 (日大2-1-1)
湯澤 愛 (日総1-1-3)
吉原恵子 (日総1-1-4)
- 茨城県高等学校総合文化祭
美術展
入選
内田礼衣
湯澤 愛
- 文芸部
茨城県高等学校文芸部中央大会
【散文の部】優良賞
北條由子 (日大3-1-1)
【散文の部】佳作
柴山大樹 (総合3-1-5)
【詩の部】佳作
倉持結衣 (総合2-1-5)

平成28年度3年生合格者区分概況

1 国公立大学 合格者数 1名

大学名	合格数
新潟大学	1名

*合格数は1月13日までの結果です。



(在籍187名)



2 日本大学(短期大学部を含む) 合格者数 104名

学部名	合格数
法学部	14名
文理学部	13名
経済学部	5名
商学部	19名

学部名	合格数
国際関係学部	8名
危機管理学部	2名
理工学部	12名
生産工学部	14名

学部名	合格数
工学部	5名
生物資源科学部	10名
短期大学部	2名

3 私立大学 合格者数 34名

大学名	合格数
青山学院大学	1名
茨城キリスト教大学	3名
大妻女子大学	1名
神奈川大学	1名
神戸学院大学	1名
国際医療福祉大学	1名
城西大学	1名

大学名	合格数
大正大学	1名
高崎健康福祉大学	1名
千葉科学大学	1名
千葉商科大学	1名
筑波学院大学	1名
つくば国際大学	2名
帝京平成大学	1名

大学名	合格数
東京福祉大学	1名
東京未来大学	2名
東洋大学	1名
常磐大学	2名
日本保健医療大学	1名
白鷗大学	4名
流通経済大学	6名

4 私立短期大学 合格者数 3名

大学名	合格数
つくば国際短期大学	1名

大学名	合格数
常磐短期大学	2名

5 専門学校等 合格者数 10名

学校名	合格数
アール医療福祉専門学校	1名
大原スポーツ公務員専門学校	1名
大宮ビューティーアート専門学校	1名
晃陽看護栄養専門学校	1名

学校名	合格数
国際テクニカル理容美容専門学校	1名
帝京高等看護学院	1名
東京スポーツ・レクリエーション専門学校	1名

学校名	合格数
マロニエ医療福祉専門学校	1名
栃木県立県央産業技術専門学校	1名
水戸産業技術専門学校	1名

6 就職 合格者数 5名

就職先名	合格数
茨城食品ガーリック工業	1名
笠間市消防本部	1名

就職先名	合格数
小里工業	1名
自衛隊	1名

就職先名	合格数
筑西広域市町村圏事務組合(消防)	1名

卒業生おめでとう。

恩師から皆さんへ

贈る言葉

「感謝の心」

日大・総進コース

主任 黒田 海盟

三年生の皆さん・保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

平成二十六年四月の入学式後に各クラスで「よく学び、よく遊べ」ということを話しました。それからのあついう間の三年間でした。生徒の皆さんは、この三年間を振り返ってみてどうでしょうか。充実した時間にする事が出来たでしょうか。高校生活において継続的に学び、そして、様々なことに自ら進んで挑戦して来たでしょうか。私は機会があるごとに「高校生活を自らの力で実りあるものにしてしまおう。」と話してきました。自分の人生です。環境や結果が自分の思うような状況でないことを嘆いても何も解決しません。周囲も全て完璧であるという状態はなかなかありません。現状を認識するとともに、周囲の良い部分に目を向け、そして

伸ばし、広げ、そこからよりよい道を拓いていってもらいたいと思います。卒業後は、今まで以上に自ら考え、周囲に信頼される生活習慣を実践してもらいたいと思います。

さらに、人生をより豊かにしていくためには友の存在は欠かせません。友人は宝です。この三年間で、出会った友人が、人生の最も重要な宝となることもあると思います。自分の限られた視野にだけ囚われることなく、多様な価値観を持った人々と出会い、そして影響を与えあい成長しする。この縁を、大切にしてもらいたいと思います。新たなステージでも多くの人の出会いの機会を大切にしてください。

また、卒業生の皆さんは、感謝の心を忘れないでください。この三年間を支えてくれた方々、とくに保護者の方に感謝の言葉を伝えましょう。言わなくても伝わると思う人もいますかと思いますが、この機会には

きりと言葉にして伝えましょう。言葉に出さないと伝わりにくいことも多いですし、それ以上に、感謝の言葉は人を幸せにするからです。これからの人生、様々なことをはっきりと言葉で伝え笑顔を贈りして下さい。「笑う門には福来たる」です。

最後になりましたが、卒業生・保護者の皆さん、三年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

「楽しかった思い出を胸に」

国立・特進コース

主任 大塚友美子

ご卒業おめでとうございます。時の流れは早く、三年前に入學した皆さんがもう本校を巣立っていく時期になりました。

三年前、あどけない表情だった一年生が、今ではすっかり逞しく成長し見違えるようです。

蓼科宿泊学習での山登りやそば打ち、レクリエーションの思い出、オーストラリアへの修学旅行でのホームステイの思い出、三年間の文化祭や体育祭の思い出など、どれもこれも今、思い出すと楽しかったことばかりでしょう。

三年間国立・特進コースでの日々はどうでしたか。六組はクラス仲がとて良く、三年生の受験期でも教室を覗くと、皆さんの

楽しそうな笑顔が見え笑い声が聞こえました。教室での何気ない出来事が卒業してから、ふとした時に思い出されることでしょうか。十一月に宮崎先生が入院してから、大好きな担任の先生が不在となり、どんなにか心細かったことでしょうか。受験勉強で忙しい中、クラスみんなで色紙にメッセージを書いたり、千羽鶴を折ったりと、宮崎先生の回復を祈りました。色紙には、「最近、夜遅くまで残って勉強していく人が増えました。先生、安心してください。」「先生が戻る日までみんなで一致団結して受験を乗り切ります。本気です。」など、宮崎先生に心配を掛けないようにしようとする気持ちが良く表れていました。センター試験当日は寒さの厳しい日でした。でも、一人も休まず受験しました。本当によく頑張りましたね。もう一息、第一志望の合格を掴むまであきらめず頑張ります。人はつらい時や苦しい時、楽しかった思い出を支えにして生きていくのではないのでしょうか。皆さんにとって高校時代の思い出がいつまでも輝くものでありますように。



「贈る言葉」一期一会」
日大・総進3年1組
担任 住谷 司

ご卒業おめでとうございます。3年間の高校生活はいかがでしたか。これからみなさんは、進学や就職など、様々な進路に向かうことと思います。そして、これまで以上にいろいろな人と出会うことでしょうか。私の好きな言葉は、一期一会です。人と人との出会いを大切にしてください。どんな出会いも、ひとつとして無駄なものはありません。「人」を大切にできる、そんな人になってください。また元氣な姿で会える日を楽しみにしています。みなさんの担任で幸せでした。今までありがとうございました。



「ありがとう」

日大・総進3年2組

担任 入江美岐

皆さんと出会った2年前、ものすごく緊張しながらクラス替え直後の教室に入ったのを昨日のこのように覚えていきます。あの日から、時に厳しいことも言いましたが、いつでも皆さんは真っ直ぐに先生の方を向き、先生の話に真摯に耳を傾けてくれました。そうした時間の積み重ねで、先生の緊張もほぐれていきました。ありがとう。

皆さんとの思い出を語り出せばきりがありませんが、3年生で文化祭と球技大会で2冠達成は皆さんから貰った最高の思い出に成りました。とても嬉しかったです。ありがとう。



「自分で考える」

日大・総進3年3組

担任 渡辺浩実

3年間、色々な問題に取り組んできました。数学も英語も、進路の事も。そしてこれからの自分自身の生き方の事も。

沢山の問題に立ち向かい、悩みながら日々成長していったみなさんですが、まだまだこれから新しい問題にぶつかる事でしょう。そのときは、確かな事を増やしていこう。何が分からないかをはっきりさせよう。そうすれば先が見えてくるかもしれない。問題が難しければ難しいほどその経験が武器になって次に自分を助けてくれる。

でも、疲れたときは岩目に帰って来てください。今日と同じ顔でいつでも待っています。



「実り」

日大・総進3年4組

担任 菊池直樹

岩日での高校生活はいかがでしたか。身も心も大きく成長した皆の姿をみると、いろいろなもの収穫できたのだろうと思います。4組の思い出といえば、エイムズの部屋、餃子スूप&ブルーツ、文化祭や体育祭は惜しくも2位でしたね。修学旅行ではマフィアが生まれましたね。たくさんさんの思い出を共有し、助け合ってきた4組の皆には、これから先も良い関係を育んで欲しいと思います。そして、新たな出会いも大切に、皆さんの実りを収穫して下さい。さまざまな経験を積み重ねて、もともともっと成長した姿を見せて下さい。皆の未来に栄光あれ!



「祝 卒業」

日大・総進3年5組

担任 櫻井是孝

3年5組のみなさん、卒業おめでとう! 人生80年。その中の3年という最初で最後の高校生活、いかがだったでしょうか?

女子は5人という少ない人数ではありましたが、文化祭や体育祭など率先して取り組み、クラス全体をまとめてくれました。男子は明るく活発な生徒が多く、注意しなかった日は無かったと思います。しかし、ここぞという時の団結力は素晴らしいものがあつたと思います。

これからはそれぞれの道に進むわけですが、みなさんのさらなる飛躍を期待しています。

初担任

みんなに感謝

ありがとう!



「ミンガンZ」

国立・特進3年6組

担任 宮崎俊弘

いよいよ卒業ですね、別れることの寂しさよりも、君たちが大空へ飛び立つことにワクワクしたのを感じます。

2年からの移行組もすぐクラスになじみ、学業にも学校行事にも、ミンガンZで積極的に取り組み、次々に良い結果を残してきました。また、男女の壁が無く、笑顔が絶えない明るいクラスでした。昨年11月の試練もミンガンZで乗り越えました。進路も冬来たりなば：で不安を克服しました。

これまで通り、気配りができ困った人に愛の手を差し伸べられる人でいてください。そして才能と個性の花を咲かせ、社会の有為な人材となつて下さい。君たちがとっても好きです。

(代筆 智)



父母と教師の会活動を通して



父母と教師の会

会長 梅落秀幸

寒さの中にも春の訪れが感じられる頃となり、新たなスタートが近づいていることを実感する季節になりました。

保護者の皆様には日頃より「父母と教師の会」の活動にご協力を頂き誠にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年5月の総会において会長職を任命されて以来、微力な私ではございましたが、校長先生をはじめ諸先生方、役員の皆様のご協力により無事に活動を務めることができました。心より感謝申し上げます。

父母と教師の会の活動を通して一番強く感じたことは、学校側の熱心な指導体制とそれに応えようとする生徒の姿勢です。先生と生徒、保護者の距離がとて近く一人一人に

向き合ってくれていることが実感出来る。保護者としてとても安心できることではないでしょうか。学校の一大イベントである「桜瑛祭」はまさにその象徴とも言えます。

学校、生徒、保護者が一つとなつて取り組む「桜瑛祭」は、他校にはない岩瀬日本大学高等学校の大きな魅力であり、三者の強い絆づくりの場となつていてることを感じました。

3年生はもうすぐ卒業を迎え新たな道の始まりとなります。自分たちの進路について真摯に向き合っていたいただいた先生、保護者への感謝を忘れずに自分の道を進んで行かれることを心より祈っています。また、在校生の皆様には、学校の伝統を引き継ぎさらに飛躍し活躍することを願っています。

昨今の子供たちをとりまく環境は、スマートフォンの普及に伴うSNS等の利用拡大にともない、自分たちの時代と大きく変化しています。

このような中で、生徒達を見守り育てていくためには、学校、家庭、地域社会の三者がそれぞれの役割を踏まえ、連携を密にして取り組んでいく必要があると思います。

生徒達の健やかな成長の手助けとなるような活動を父母と教師の会では今後も続けていきたいと思っておりますので、保護者の皆様の変わらぬご協力をお願いいたします。最後に、岩瀬日本大学高等学校ならびに会員皆様の今後益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

「支部活動を通して」

桜川支部

支部長 田山 哲博

桜川支部長に選任され戸惑いを感じながら新年度が始まりました。ですが、学校行事を遂行する上で、支部総会や懇談会を通じ、先生方や役員の皆様のご協力をいただきながら無事に年度末を迎えようとしております。

年間行事の中で最も大きなイベントである桜瑛祭では、多数の保護者の皆様にご参加をいただき、子どもたちと一緒に桜瑛祭を楽しむことができました。日常に於いて保護者間の交流の場を得ることはなかなか困難ですが、このような支部活動では、皆が協力し合い、時には学校生活のことや進路のことなど、様々な情報交換の場として有意義な時間を費やすことができました。

私にとりまして支部長という役は、大役であり貴重な体験となりました。最後に、来年度に向けて会員の皆様や岩瀬日大高校の更なる発展をご祈願いたします。



「支部活動を振り返って」

下館支部

支部長 坂寄 誠

私の支部活動を振り返ると、二年間に渡り支部長という大変重責な役職に携わらせていただき、役員の皆様、会員の皆さま、学校の諸先生方やその他関係者など絶大なるサポートがあったゆえに、やり遂げることが出来たと感じます。これもひとえに皆さまのご支援とご指導の賜物と深く感謝しております。

活動としては支部総会に始まり、一番印象に残るのは桜瑛祭ではないでしょうか？

下館支部恒例『じゃがバター』の屋台を盛り上げようと皆さんの知恵と工夫を凝らし、頑張った成果として、大きく売上げに貢献ができ、それと同時に支部内の絆も図ることが出来ました。

また今年、『普通救命講習会(AED)』を開催して人命救助の知識を習得したことで、一つでも多くの命の手助けに役立てることになりました。活動に際し、ご理解とご協力を賜り誠に有難う御座いました。

最後に、会員の皆さまや岩瀬日大高校の益々のご発展を祈念致します。

「出会いに感謝」

県西支部

支部長 飯村 晃

緊張でいっぱいだった、あの入学式から三年。いろいろなことが思い出されます。三年間、父母と教師の会の支部役員として、学校行事や支部活動に関わらせていただきました。

この三年間を振り返ると、やはり「感謝」の言葉に尽きます。温かく、時には厳しく、迷える子供達に常に、進むべき道を指し示してくださいました先生方。頼りない支部長を支え、何でも相談にのって協力してくれた支部役員の皆様。大変でしたが、楽しかった桜瑛祭。1060食の焼きそばを完売できたのは、支部の皆様のおかげです。

そして、我が子と共に笑い励まし合ってくれたクラスの仲間達。

常に寄り添ってご指導してくださった先生方。いつも支えてくださった支部の皆様、そして、共に過ごしたクラスのみんな。この素敵な出会いに、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。



「支部活動に携わって」

ときわ支部

支部長 高橋まさみ

ときわ支部・役員としての三年間はあつという間に楽しく過ぎてしまいました。

ときわ支部では毎年桜瑛祭で焼き鳥を焼きますが、和気あいあいと準備するのが楽しく、また、毎年恒例で旅行や食事会などがあり、他の学年の父兄方と親睦を深めることができ有意義な時間を過ごせました。

今年度は予算や会員の減少で親睦会を行うことができずとても残念でしたが、来年度はぜひ親睦会を復活して会員の方々に楽しい思い出を作ってもらいたいと思います。

子供が岩瀬日大に進学したことで、役員の方々が仲が良かったこと、先生方が温かく熱心だったことにより、私は高校での役員生活を大いに満喫し充実した三年間を過ごすことができました。

大変お世話になりました。感謝いたします。



「支部活動を通して」

北つくば支部

支部長 早瀬 秀夫

三年間の支部活動、特に今年度支部長としてふり返りますと、多くの人との出会いがあり、活動への取り組みや話し合いの機会を得た気づきや学びは、忘れられない財産になりました。

また、支部総会においては、校長先生を始め支部担当の諸先生方から、学校生活、進路指導状況等について伺い、真剣にわが子たちを見守り、誠実に指導して下さっている事を感じ、とても感謝しております。

そして、支部間の絆が深まったのは、やはり桜瑛祭ではないでしょうか。子供達が独自の感性とスクールカラーとの調合で企画して、そこへ親が支部単位で模擬店を出すことには驚きでしたが、学校、生徒、親が三位一体になってつくりあげる「桜瑛祭」は岩日の特性であることを感じ得ました。北つくば支部では、恒例のフランクフルトを六百本早々に完売しました。準備から当日の調理担当、販売担当等支部委員一人ひとりの協力のおかげです。ありがとうございました。六支部間の交流も深めることができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

「二期一会」

栃木支部

支部長 外池 智

栃木支部は益々増加しつつあり、今年度も一年生44人、二年生54人、三年生46人の計144人の最大支部になっています。これまで、県東南地区から行く私立高と言えば宇都宮地区が中心でしたが、もはやこの岩日の存在が定着したと言っても過言ではないでしょう。これもまた、これまで実際の子どもを送ってみての実績と諸先輩方からのヘクチコミの成果でしょう。子ども達には繰り返さない一回きりの高校生活であり、まさに一期一会です。そうしたたった一度の積み重ねが、今日の栃木支部の在り様につながっているのだと思います。手前味噌ですが、桜瑛祭を始めとする支部会の活動を通じて、本当に栃木支部の皆様の子どもに対する思いやりと熱意の高さを実感いたしました。また、それを支えてくださっている笠倉先生の「神対応」には感謝感謝であります。子ども達も我々もそして先生方も、こうしたたった一度しかない出会いと関わりを、今後も大切にしていきたいものです。一年間ありがとうございました。



成人教育研修会

日大生産工学部見学

成人教育委員会

委員長 田崎 典子

去る10月22日、成人教育研修会を実施いたしました。

今年には日本大学生産工学部の見学とオリエンタルホテル東京ベイでの昼食会を行いました。

保護者30名、齊藤克朗校長先生、担当の先生方がご参加くださいました。

まず、オリエンタルホテル東京ベイでの昼食会では、先生方、保護者の方と、おしゃべりしながらおいしい食事をいただき親睦を深めた後、習志野の生産工学部に向かいました。

生産工学部のキャンパスは、習志野市内に2箇所あり、主に1年次に過ごす実習キャンパスと、専門性を高める施設が充実し最新鋭の研究機器が設置されている津田沼キャンパスがあります。

今回は津田沼キャンパスを案内していただきました。

生産工学部は9つの学科からなり、学科ごとにユニークな建物の教室が点在しています。工学部と名がつくので、男子学生が大半とイメージしていましたが、女子学生の姿が意外に多

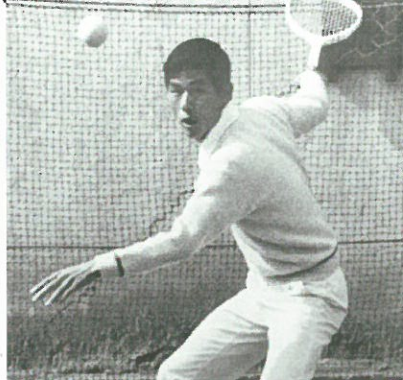


く目につき、以前に比べ学科全体での女子の比率は上昇傾向にあるということでした。

研究施設は、構造・振動実験室で地震に関する研究を、風洞実験棟では風と建物の関係を調べ、自動車工学リサーチセンターでは、学生だけでなく関連企業の研究者も設備を共同利用し、研究を進めているそうです。実際、オープンキャンパスの時は施設を動かして所を体験できると聞き、子供だけでなく私も参加してみたいと思いました。外に1台古いヘリコプターが置いてありました。これは学生に本物に触れてほしいという願いから、買い取り展示してあるとのこと、その思いが学生達を後押ししているように感じました。キャンパスを歩いてみて、全体に落ち着いた雰囲気と清潔さを感じ、大学の説明から机の上の勉強だけでなく、現場に近い学びがあると感じました。

今回このような機会をいただき、ありがとうございます。成人教育研修会は毎年開催しております。これからも是非、ご参加くださいますよう、よろしくお願いたします。

私の高校時代



教頭 青木 泰徳先生

生 日 1953年6月20日
身 地 茨城県土浦市
出 身 校 土浦日本大学高等学校
最 終 学 歴 日本大学・文理学部体育学科
好 き な 言 葉 一所懸命
趣 味 スポーツ観戦、温泉旅行

私は昭和四十四年、一九六九年に土浦日本大学高等学校に入學しました。この頃はまだ、県立高校を第一志望にする生徒が主でしたが、私は中学生から始めたテニスの技術をもっと高めたい、もっと強い選手になりたいという希望が強く、恩師の薦めもあり、テニスの強豪校のひとつであった土浦日大高校への進学を決めました。ここから私のテニス漬けの高校生活が始まりました。

当時学校にはテニスコートが無く、学校から約5km離れた、土浦市営のテニスコートを借りての練習でした。市営コートなので、一般の方や大学生も練習に来ていて、私たち部員の練習

相手になってくれたり、アドバイスをしてくれたりして、それがとても勉強になったことを覚えていています。先輩と後輩の上下関係や、練習は想像以上にとっても厳しかったですが、頑張れば頑張る分だけ実力が付いてくるのを実感できて、辛いとか、さぼりたいとか思ったことはありませんでした。

二年生になり、県南新人戦の個人戦で初優勝を果たせた時は夢のようでした。三年生になり県大会で優勝し、関東大会、全国大会と駒を進めるまでになりました。土浦日大ソフトテニス部の大きな飛躍に貢献することができ、他の部員たちと歓喜に浸りました。

私のテニスの技量や心の成長に大きな影響を与えてくれたのは、監督や部員たちでした。監督は、テニスは専門外でしたが、その分人一倍テニスの勉強をされて私たちの指導に当たってくださいった尊敬する先生でした。また、部の仲間達とは、遅くまで試合の作戦を練ったり、互いの良い点を認め合ったり、悪い点を指摘し合ったりしながら切磋琢磨しました。遠征先の宿舎でふざけ合ったり将来を語り合ったりしたこととも楽しい思い出です。このような掛け替えの無い出会いこそが、現在の私の原点だったように思います。

担任の先生のアドバイスもあり、大学に進学してテニスを続けようと思いました。そして、「教師になりたい。」と決心したのは、監督の「おまえのおかげで優勝監督になれたよ。ありがとう。」の一言でした。勉強でもスポーツでも、努力した後喜びや感動を生徒に与えられる教師になりたい。人と人との繋がりを大切にしたいと思ったのです。

部活動一色の高校時代でしたが、人生の岐路に立たされた時、本当に夢中になれるものや素晴らしい人達との出会いが、私の大きな道しるべになりました。

活躍する卒業生



帰省した中学の同級生との飲み会にて（写真右端）

■ えのき 戸 いたる 達

平成 3年 茨城県桜川市生まれ
 平成 19年 桜川市立岩瀬西中学校卒業
 平成 22年 岩瀬日本大学高等学校卒業
 平成 26年 日本大学法学部卒業
 平成 26年 桜川市役所入庁
 趣味：筋トレ、ラーメン屋巡り



■ 「挑戦を」

私は剣道部に所属し、顧問の齋藤先生、大橋先生のご指導のもと部活動に励みつつ、楽しく学校生活を過ごしました。今でも覚えているのは「剣道は強くても飯は食えない。」という齋藤先生のお言葉です。これを聞いて、剣道だけではだめだと思い、勉強するようになりました。一つのことを真剣にできることはもちろん素晴らしいことです。それがもう一つできれば、そこからもう一つ成長できます。これを繰り返して私は自分の夢だった公務員になることができました。

現在、市役所職員として勤務しています。実際に勤務して多くのことを経験し、自分の成長に繋がるよう努力しています。人生は一度きりです。何事もやらないよりやってみたほうがおもしろい発見があるかもしれません。後輩の皆さんには自分の可能性を自分から潰すのではなく、新しく見つける気持ちでいろんなことに挑戦してほしいです。

■ 塚 原 たかし 隆

平成 3年 茨城県古河市 生まれ
 平成 19年 古河市立三和東中学校 卒業
 平成 22年 岩瀬日本大学高等学校 卒業
 平成 26年 日本大学文理学部教育学科 卒業
 平成 26～28年 茨城県立古河第一高等学校 勤務
 平成 28年～現在 茨城県立下妻第一高等学校 勤務
 趣味 自己啓発、スポーツ、音楽鑑賞
 特技 ソフトテニス、ポジティブ思考、人を笑顔にすること

☆下妻一高ソフトテニス部

ソフトテニス部の顧問をしています。男女見るのは大変ですが勉強になり、やりがいも人一倍です。男女関係なく仲が良く、明るくまとまりがある私の自慢のチームです。



■ 「私にとっての岩瀬日大」

私の高校時代の思い出といえば部活動です。もちろん、担任の先生もクラスの仲間も大好きでしたし、修学旅行や文化祭なども充実していました。しかし、やはり僕にとって伝統ある岩瀬日大ソフトテニス部で、仲間とともに白球を追いかけた青春の日々は忘れられません。

母校にはソフトテニスがしたい一心で入学しました。ひたむきに練習を重ねた結果、1年時には関東選抜大会優勝に貢献し、全国大会に出場することができました。しかし、その後は県大会で優勝を果たすものの、伝統校のプレッシャーやイップスで悩み、思うような結果を出せずに最後はインターハイも逃しました。自分の不甲斐なさに涙が止まりませんが、辛く苦しい経験が多かったからこそ人として大きく成長できたと思っています。また、こうした経験ができたのも、監督であった青木泰徳先生のおかげです。

そんな恩師の後を追って、現在私は高校の体育教師として、ソフトテニス部の監督として働いています。まだ母校には敵いませんが、勝利できるよう「人間形成」を軸に、監督選手共々精進してまいります。



編集後記

「桜真」第43号をお届けします。発刊にあたり、ご寄稿頂きました青木教頭先生をはじめ諸先生方、父母と教師の会長梅落様、成人教育委員長田嶋様、卒業生の皆様には多大なるご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

2年生のオーストラリア修学旅行は、ファームステイやケアンズ市内散策を通じて国際感覚を身につける貴重な機会となったと思います。中でも世界遺産のグレートバリアリーフの自然に直に触れることができたのは外国文化への理解を深める意味で素晴らしい企画でした。一回りたくましさを増して帰国した生徒の姿が印象的でした。

3月には3年生が卒業式を迎えます。ぜひ母校で学んだ知識と誇りを持って、それぞれの進路で活躍していただきたいと願っております。そして失敗を恐れずに興味ある分野にどんどん挑戦してください。

最後に、将来性豊かな岩瀬日本大学高等学校並びに各教員の先生方、各支部、そして卒業生並びに在校生の皆様のご活躍をご祈念申し上げます。

広報委員長 井坂 英典

(ときわ支部)